

Shin Club 32

㈱辰 通信 Vol.32

2002年11月

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f

Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

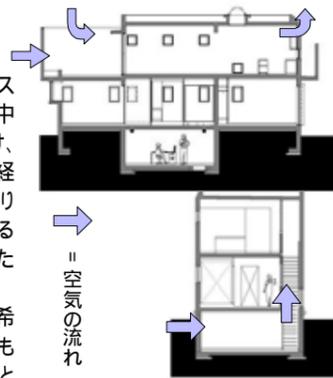
今月のトーク 「呼吸する家」

先日「プロジェクトX」というTV番組で、カーナビゲーション・システムの開発に成功した会社に取り上げられていました。番組の中では、同社の社員が、家族サービスのため休日ドライブに出かけ、世田谷のとある町に迷い込んでしまって、出られなくなった苦い経験が開発の発端と紹介していました。ほんとに世田谷は道が入り組んだ住宅密集地。都心に近く便利ですが、後から建物を建てる人は、近隣環境に配慮しながら、自分たちの快適な暮らしを守るために工夫が必要です。

9月にお引渡しした、駒沢公園近くのH邸でも、ご主人の第一の希望は、外からの視線を遮るため、窓は極力小さく、堀も高く、というものでした。一方で、光や風を十二分に室内に取り込んでほしい、という贅沢なご希望。でも厳しい条件だからこそ、生まれるアイデアというものがあります。一見すると相反する課題を解決することこそ、家作りの醍醐味といえるかもしれません。

このH邸では、基本となる建物全体の自然換気を、南北方向、上下方向の2つの流れで考えました。2階テラスの植栽の外壁にあげられた丸窓から、北側キッチンの窓への南北の流れ。下からは地下室の換気口から階段室を通じて上階へつながる上下の流れ。2つの流れは、効果的に機能しています。この階段室を通して上階からの光が地階まで届きます。また小さい窓の網戸の利用がスムーズに行われるように、1階の窓には、内倒し、ジャロジーを採用しています。そのほか各部屋の窓は、奥様の希望により、目線の高さを避け、高窓か地窓にしています。高窓は排気・採光面で利点があり、地窓は給気の面で意外に効果大です。

家庭内で一番給排気が気になるのは、ダイニングとキッチン。換気口と給気口を数箇所設け、特に、調理するキッチンには、ショートサーキットの考え方を優先させて、換気扇のすぐ近くの壁面に給気口を設けています。通常家庭の換気扇はその出力に比べ、給気が効いていないといわれます。それで換気扇の音が予想以上の騒音になっている場合があります。気密性の高いマンションなどでは、換気扇を廻したとたんテラスから「ビュービュー」と



うなり声が出ますね。排気する空気量に給気が追いついていないのです。

内装材も吸放湿性効果のあるものを使用しています。壁は打放しが基本ですが、部分的にラフィットクロス(木から生まれたビスコースレーヨン糸を主原料にした織物壁紙)を貼っています。傷つきやすいものですが、有機溶剤、可塑剤も使用していないので安心です。室内の湿度が高くなると水分を吸収、乾燥すると発散します。地下室、寝室の天井には珪藻土を塗り、さらに吸湿、消臭機能を持たせました。2階リビングダイニングの3mの天井には、MKボード(セラミック混入木毛セメント板)を打ち込み、あらわしとしました。コンクリートから放出されるアンモニア成分を吸着する性能も持っており、弊社でも以前から打ち放しの建物に多く採用しています。

そのほか、床は、テラコッタ風タイルを使用し、外のテラスのタイルは、同じタイルに滑り止め機能を持たせました。タケイ式躯体防水を採用して、発泡スチロール材の断熱材を敷いた上に貼っていることでメンテナンスも容易に行えます。

以上のように、換気を熟慮した建物の構造とあわせて、吸放湿性のある内装材を随所に採用しているため、空気はさわやかです。まさに「呼吸する家」、シンプルでありながら、機能性を重視したデザインに、お施主様も満足されています。

2階リビング。左側ガラス面の向こうは階段室。右側の西面は外壁がガルバリウム鋼板の外断熱。天井はMKボード 太陽光自動追尾システム「サンヨーソーライト」の自然な明りが天井から注ぐ。リズム採光で年間を通して常に明るい自然光を導く。残念ながらこの秋製造中止が決定。2階ダイニング。高い天井とテラコッタの床。奥に見えるキッチンの壁が珪藻土タイル。油も水分と同じように吸収し表面に後が残らない。2階リビング脇の和室。天井は珪藻土を塗っている。玄関。1階玄関から階段室へ。2階からの明りが下階まで差し込む。1階階段室脇のスペース。大きなガラス引戸はご主人のアイデア。建物内部まで光が届く。屋上。2階の室温上昇を抑える断熱材として敷いた緑化用ヤシガラマットとソーライトの天窓。



TOPICS

「溪山荘 地鎮祭」 (9月13日) 中野区

南面の四季の草花を生かした設計の共同住宅です。

構造:RC造
用途:共同住宅
設計:大場大司
㈱司建築設計事務所
完成予定:2003年3月



「代田集合住宅 地鎮祭」 (10月5日) 世田谷区

長屋式の内外打放しの集合住宅です。

構造:RC造
地上2階、地下1階
用途:共同住宅
設計:千葉学
千葉学建築計画所
完成予定:2003年4月



「南麻布の家 お引渡し」 (10月18日) 港区

南麻布の高級住宅街に建つ専用住宅です。化粧打放しと外断熱工法を取り入れています。

構造:RC造
建築面積:54.87㎡
延床面積:169.54㎡
用途:専用住宅
設計:武松幸治(E.P.A.環境変換装置建築研究所)

「六本木FSビル 地鎮祭」 (10月29日) 港区

六本木交差点近くに建つ化粧打放しの飲食店舗ビルです。

構造:RC造、地上3階、地下1階
用途:店舗
設計:マナ建築設計
完成予定:2003年5月



「パーティションとしてのピーエス」

～トモエそろばんのオフィスレイアウト～

今回は、9月末、お引渡しをした「トモエそろばん」新社屋の内部をご紹介します。

1階がオフィス、2,3階が教室、さらに3階の奥には資料室が配置されています。この資料室には、そろばんの素材や形状の変遷を示すもの、歴代のソロバン教育玩具などもあり、貴重な歴史資料が多く保管されています。さて、この建物全体の温熱環境には、人の健康にやさしい輻射冷暖房システムのピーエスが採用されました。3階の子供用教室には、明るい赤のHRヒータを、そしてその子供用トイレには、かわいい壁紙に合わせた色のヒータが設置されています。2階大教室には、前後4ヶ所に白のHRヒータを設置し、後部中央にオレンジ色のヒーター1台置いて、準備コーナーとの仕切りになっています。1階のオフィスには、応接コーナーや作業スペースに応じて、黄色のHRヒータを数台、他のパーティションと併用しています。ドアや階段の手すりと同色で、親しみやすい雰囲気を作り出しています。ピーエスの本格的な稼働は、寒くなるこれから。その効果が期待されています。



3階資料室。3階子供教室のかわいい家具とピーエス。2階大教室窓側のピーエス。同じく2階大教室後方のピーエス。準備室との仕切りに使われている。1階オフィス内のピーエス。左側のパーティションと同じような感覚で仕切りとして使う。1階オフィスへの入口。1階玄関から2階への階段。玄関は完全なセキュリティロックシステムを入れている。

INFORMATION

先月号で、ご紹介したTOPICSの「平町集合住宅 地鎮祭」の記事の中で、「設計:谷内田章夫」様の事務所を一部「アーキテクチャワークショップ」と記載して発送してしまいました。正しくは「/ワークショップ」です。ご迷惑をおかけいたしました関係者の皆様へ深くお詫び申し上げます。